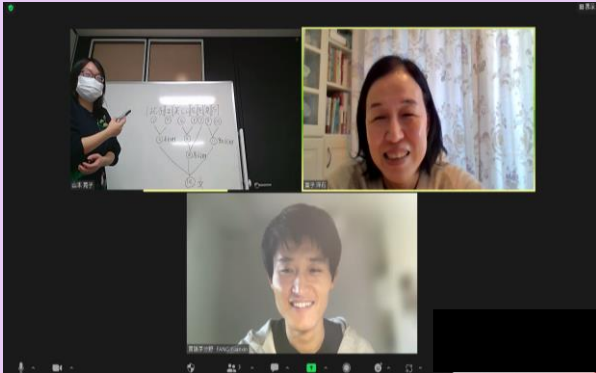


文構造研究会



メンバー

会長：深石葉子（文研D1）

副会長：寺倉大智

（言語研M2）

会員：山本晃子（文研D1）

客員会員：FANG Yuanxin

（名古屋大学院D2）

研究会の開催

本研究会の目的は、「日本語の文構造」に関する知識を深めることである。毎週金曜日に定例読書会を26回実施しメンバー間で活発な議論が行われた。今年は「ベーシック語彙意味論」を通読した。またメンバーの学会発表に合わせ、リハーサルを行った。

英書講読

全8回で学外から英語講師を招き、英書講読の添削・解説講義を行った。取り上げた書籍は、
①Shibatani(1990)The language of Japan.
②Landry,R. & Allard,R,(1992)Ethnolinguistic vitality and the bilingual development of minority and majority group students.In W Fase,K.Jaspaert, & S,koon,(eds)Maintenance and loss of minority languages,Amsterdam:John Benjamins.

